

2022 年度 事業計画書

2 年間にわたる新型コロナウイルスのパンデミックは、社会に大きな被害をもたらし、文化・芸術分野においても沢山のアーティストがその発表の機会を奪われ苦境に立たされた。しかし、その一方では、文化・芸術が日々の生活にとっていかに重要なものであるかということが再認識され、またネットを活用した様々な取り組みが行われるなど、文化・芸術に新たな可能性を生み出すことにもなった。このような中、当協会にとって 2022 年度は第 5 次グランドデザイン中期計画の初年度にあたり、かつ「2025 年大阪・関西万博」へと繋がる活動を推進する重要な一年となる。

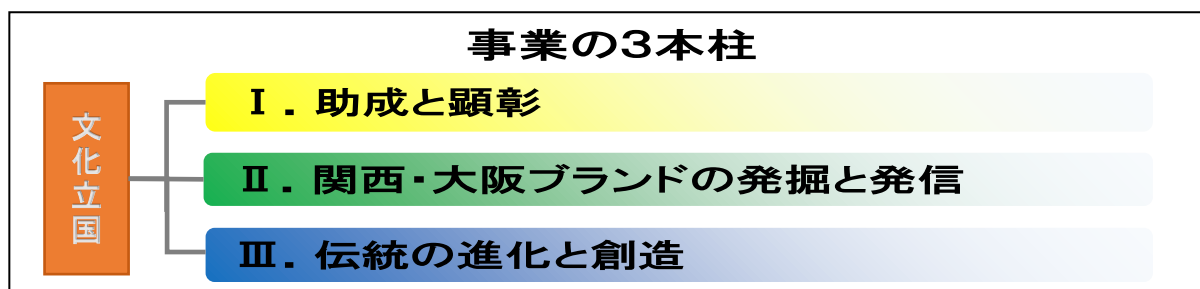
新型コロナウイルスの感染拡大は、ワクチン接種や経口薬の開発などで収束に向けた光明も見えてはいるが、事業の推進にあたっては感染状況を見ながら機動的に対応していくこととする。

万博記念基金事業では、「万博理念」に相応しい国際交流活動等への助成を継続して行う。また、昨年からはじめた日本の伝統文化を学ぶ外国人留学生を対象にした奨学金給付事業も継続実施し、日本の伝統文化への理解を促すとともに、日本と外国との国際交流の懸け橋となる次世代人材の育成を目指す。

アーツサポート関西事業では、昨年度同様若手アーティストへの支援を重要課題として位置付け、昨年 11 月にスタートした「HEART & ART」をより一層 PR して新型コロナ禍で苦しむアーティストたちへの支援を強化する。また、寄附者の思いが直接届くように、ネットの仕組みを活用して 2021 年度に立ち上げたクラウドファンディング型の支援を 2022 年度より本格的に運用スタートする。

文化事業では、2021 年度後半から実施している小学校での次世代の人材育成とアーティスト支援を目的とした活動を 2022 年度においても引き続き実施する。また、文化施設とのコラボレーションによる関西・大阪からアーティストを輩出する取り組みを実施する。さらに、関西の食文化や歴史等に焦点を当てた動画を制作し、その魅力を発信するとともに、自治体や諸団体等との結節点機能としての役割を果たすため「北前船寄港地フォーラム」への支援を引き続き行う。

その他、上方文化芸能においては、「御田植神事」や「宝恵駕行列」等の上方伝統行事への支援を引き続き行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって、日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った国内外で実施される「国際相互理解の促進に資する活動」に対して助成金を交付するとともに、日本の伝統文化を学ぶ外国人留学生を対象に奨学金給付事業を行い、「次世代人材育成」を通して日本の伝統文化の理解を促し、その根底に流れる調和的発展の精神を世界に広げて、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営のために寄附をする。

ア. 助成事業

A. 助成金交付対象分野

1970年万博の理念を継承し、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

- 国際相互理解の促進に資する活動
 - …国際交流に寄与する活動
 - …国際協力に寄与する活動
 - …教育に関する国際的な活動
 - …学術に関する国際的な活動

B. 2022年度助成事業

(1) 2022年度助成金交付事業

① 助成対象等

○ 複数年助成

- ・事業期間2～3年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
- ・助成総額2,000万円を上限として、年に数件程度を採択予定。
(※相応しい活動がない場合は「該当なし」とする)
- ・助成金は年度毎に支払い、単年度での上限金額は1,000万円とする。
- ・「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適い、大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
- ・各年度実施状況を確認し、次年度の継続可否を審査する。

○ 単年度助成

- ・助成金300万円を上限として数十件程度を採択する。

② 交付決定

- ・2021年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（42件8,000万円）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

2022年度助成金交付決定

(単位 上段：件、下段：万円)

| 助 成 | 複数年年度 | 単年度 | 合 計 |
|--------------------|------------|---------------|---------------|
| 国際文化交流、国際親善に寄与する活動 | (2) 640 | (27) 5,080 | (29) 5,720 |
| 教育、学術に関する国際的な活動 | (0) 0 | (13) 2,280 | (13) 2,280 |
| 合 計 | (2) 640 | (40) 7,360 | (42) 8,000 |

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

- ③ 実地調査及び事後評価
 - ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
 - ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行い、次年度以降の評価に反映する。

(2) 2022 年度奨学金給付事業

- ① 給付対象等
 - ・対象者 日本のお伝統文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生を対象
 - ・対象人数 8 名程度 (予定 4 大学、各大学 1~3 名)
 - ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円 (1 名あたり)
 - ・報告会 年 2 回程度実施
- ② 募集・審査等
 - ・募集期間 2022 年 4~5 月
 - ・審査 2022 年 6 月上旬
 - ・交付決定 2022 年 6 月下旬 (理事会で決定)
- ③ 継続給付
 - ・対象者 2021 年度に奨学金給付を決定した奨学生
 - ・対象人数 3 大学 3 名
 - ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円及び 60 万円 (1 名あたり)
 - ・報告会 年 2 回程度実施

C. 2021 年度助成金交付事業の繰越等

2021 年度に交付決定を行った助成金交付事業のうち、年度内に事業を実施し助成金の交付が翌年度になるもの及びやむを得ず事業実施が翌年度になるものについて、2022 年度への助成金交付時期の繰越 (予定 18 件 2, 638 万円) 等を行う。

D. 2023 年度助成事業の募集

(1) 2023 年度助成金交付事業

- ① 助成金交付対象分野
 - 1970 年万博の理念を継承し、「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。
 - 国際相互理解の促進に資する活動
 - …国際交流に寄与する活動
 - …国際協力に寄与する活動
 - …教育に関する国際的な活動
 - …学術に関する国際的な活動
 - ・募集事業 複数年度助成事業及び単年度助成事業
 - i) 複数年度助成事業
 - ・「日本万国博開催の意図」の趣旨に適い、今後、大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
 - ・事業期間 2~3 年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
 - ・最長 3 年度、助成総額 2, 000 万円を上限として年に数件程度を採択予定。

(※相応しい活動がない場合は「該当なし」とする)

- ・助成金は年度毎に支払い、単年度での上限金額は 1,000 万円とする。
- ・各年度の実施状況と次年度の計画の報告を受け次年度の継続助成を行うかどうか審査する。

ii) 単年度助成

- ・助成金 300 万円以内の範囲で上限額を設定し年に数十件程度を採択する。

② 募集方法等

- ・募集方法 ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
- ・募集説明会 大阪及び東京ほか 1 カ所 (予定)
- ・募集時期 2022 年 7～9 月
- ・助成総額 8,000 万円 (国内外事業助成予定総額)
- ・助成対象事業の選考 審査会の開催 2023 年 1～2 月
- ・助成金の交付決定 決定時期 2023 年 3 月

〔 日本万国博覧会記念基金助成事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。 〕

(2) 2023 年度奨学金給付事業

① 奨学金給付対象分野

1970 年万博の理念を継承し、世界の未来を担う「次世代人材育成」を通して日本の伝統文化の世界への理解を促す「国際相互理解の促進に資する活動」を奨学金給付対象とする。

② 募集対象等

- ・募集対象 日本の伝統文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生
- ・対象大学 日本国内の奨学金の給付対象となる大学 (予定 4 大学)
- ・対象人数 8 名程度 (各大学 1～3 名)
- ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円 (1 名あたり)
- ・給付期間 修士課程修学期間 (最長で 2023 年 4 月～2025 年 3 月)
- ・募集方法 対象大学による公募やホームページへの掲載
- ・募集時期 2023 年 3 月下旬～5 月
- ・奨学金総額 2,000 万円程度 (継続給付含む)
- ・奨学金対象の選考 対象大学内選考及び審査会の開催 2023 年 5～6 月
- ・奨学金の交付決定 決定時期 2023 年 6 月 (理事会で決定)
- ・報告会 年 2 回程度実施

E. 助成事業の「見える化」への取り組み

助成金及び奨学金贈呈式

- ・国内 (一部国外も含む) の助成事業者及び奨学生を一堂に集め、贈呈式を開催する。併せて助成事業の事例発表等を開催する。
- ・経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者 (審査員)、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。

…開催日程 2022 年 7 月頃

…開催場所 大阪

…参加者数 事業者、関係者合わせて 100 名程度

イ. 大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附する事業

大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

【寄附金額】 1億3000万円程度（万博記念基金の運用益の二分の一）

2. 「アーツサポート関西」（ASK）事業（公益目的事業3）

芸術・文化は、人々の感性や創造性を涵養し社会をより豊かにするものである。関西の優れた伝統芸能の継承や新たな芸術的価値の創出を図るため、民間から広く支援を募り、助成金交付等の事業によって関西の芸術・文化活動を行う個人・団体を支援する。

また社会に対し芸術・文化を支援する意義を広く周知し、支援の輪を広げていく機運醸成を図る。

ア. 寄附を集める活動

ASKの活動は、民間からの寄附金を財源としており、この活動財源である寄附受入の持続可能な仕組みとして、サポーターズクラブをはじめ、購入代金の一部が寄附される「寄附型自販機」や買取代金から一部寄附される「モノ de 寄附」など多様な取り組みを行ってきている。

今後も引き続き、ASKの運営基盤を強化するため、従来取り組んできた持続性のある寄附受入の手法を中心に、次の取り組みを行う。

- A. 「ASKサポーターズクラブ」による収入の維持・拡大
- B. 「ASK寄附型自販機」による収入の維持・拡大
- C. 「モノ de 寄附」による収入の維持・拡大
- D. 「カード寄附」による収入の維持・拡大
- E. 「クラウドファンディング助成」における寄附集めの推進
- F. ウィズ・コロナ時代における芸術活動支援のための寄附集めキャンペーン「HEART & ART」の取り組みの推進
- G. WEBやQRコードを活用したオンラインによる寄附集めの推進
- H. その他、持続性のある新たな寄附の方法の検討・実施

イ. 助成事業

A. 2022年度助成金交付事業

(1) 一般公募助成

「寄附型自販機」など支援先の指定がない寄附を原資として公募で助成するもの。2022年度に行われる活動を対象に、2021年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

2022年度一般公募助成金交付決定

(単位：件、万円)

| | 件数 | 金額 |
|---------|----|-----|
| 美術・デザイン | 6 | 210 |
| 音楽 | 4 | 135 |
| 舞台芸術 | 3 | 100 |
| 伝統芸能 | 2 | 55 |
| 合計 | 15 | 500 |

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

(2) 個別寄金助成

寄附者が支援対象を指定したファンドを設け、ファンドごとに公募で助成するもの。2022年度に行われる活動を対象に、2021年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

①前年度からの継続事業

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 対象者 |
|-------------------------------------|------|------|------------------------------|
| 「寺田千代乃 上方落語 若手噺家支援寄金」助成 (8年目) | 50万円 | 伝統芸能 | 公益財団法人 上方落語協会 ※助成先は10年間継続 |

②公募済みの事業

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 対象者 |
|------------------------------------|------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 「八千代電設工業伝統 芸能支援寄金」助成 (6年目) | 50万円 | 能楽における青少年 を対象にした 教育 普及活動 | 関西広域において左記の 活動を行う団体 |
| 「上町台地現代アート 創造支援寄金」助成 (4年4回目) | 50万円 | 上町台地における寺 社とアートとの融合 を図る活動 | 関西広域において左記の 活動を行う個人・団体 |
| 「コクヨ文楽支援寄金」 助成 (1年目) | (2022年度) 250万円 ※ | 関西における文楽の 普及発展に貢献する 活動 | 関西(大阪)において左記 活動を行う団体 |
| 「未来アート寄金」助成 (1年目) | 90万円 | 現代美術およびコン テンポラリーダンス | 関西広域において左記の 活動を行う個人 |
| 「ソフィア寄金」助成 | 4.5万円 | 現代美術における平 面作品の制作活動 | 関西広域において左記の 活動を行う個人 |

※「コクヨ文楽支援寄金」については、2021年度に250万円の助成金交付を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により文楽公演が中止となったため、2022年度の活動を対象に交付することとする。

③2022年度中に公募を実施し助成金を交付する事業

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 対象者 |
|------------------------------------|-------|---------------------------------|----------------------------------------|
| 「上町台地現代アート 創造支援寄金」助成 (4年5回目) | 100万円 | 上町台地における寺 社とアートとの融合 を図る活動 | 上町台地の魅力をアート を介して発信する展覧会 等の企画を行う者 |

募集期間：2022年5月～6月(予定)

交付決定時期：2022年7月頃(予定)

(3) クラウドファンディング助成

公募で選ばれた助成対象事業をクラウド上に公表し、当該事業を支援するための寄附集めを行い、集まった寄附を助成金として交付する。

2022年度クラウドファンディング助成対象者

(単位：件、万円)

| | 件数 | 助成希望金額 |
|---------|----|--------|
| 美術・デザイン | 3 | 1,540 |
| 音楽 | 0 | 0 |
| 舞台芸術 | 5 | 850 |
| 伝統芸能 | 2 | 750 |
| 合計 | 10 | 3,140 |

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

クラウドファンディングによる寄附金の募集

- ・募集期間 2022年4月～6月（予定）
- ・目標金額 3,489万円（予定）

B. 2023年度助成事業の募集

(1) 一般公募助成

| 助成総額 | 助成分野 | 対象者 | 募集期間 | 募集方法 |
|-----------------|----------------------|-----------------------------|----------------------|-------------------------------|
| 300万円 ～500万円 | 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能 | 関西を拠点に活動する個人・団体 (個人優先採択) | 2022年12月 ～2023年1月 | 協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内など |

※寄附の受入状況によって助成総額を設定する

(2) 個別寄金助成

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 募集期間 | 募集方法 |
|------------------------------|------|------------------------------|----------------------|-------------|
| 「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成 (7年目) | 50万円 | 関西で行われる音楽における青少年を対象にした教育普及活動 | 2022年12月 ～2023年1月 | WEBへの掲載等による |
| 「上町台地現代アート創造支援寄金」助成 (5年目) | 30万円 | 上町台地における寺社とアートとの融合を図る活動 | | |
| 「未来アート寄金」助成 (2年目) | 90万円 | 現代美術およびコンテンポラリーダンス | | |

(3) クラウドファンディングによる助成事業の募集

| 助成総額 | 助成分野 | 対象者 | 募集期間 | 募集方法 |
|-----------------|----------------------|--------------|----------------------|-------------------------------|
| 集まった寄附を助成金として交付 | 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能 | 関西を拠点に活動する団体 | 2022年12月 ～2023年1月 | 協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内など |

C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 2023年1～2月（1～2次）
- ・運営委員会 2023年2～3月上旬
- ・助成金交付決定 2023年3月（理事会：3月）

D. 2022年度中の分野指定型寄附金の受入れ及び助成対象者の公募等の実施

2022年度中に分野指定型寄附の申込があるときは、当該寄附金の受入れに係る理事会の承認又は報告の手続きにより受入れを行う。

なお、寄附金の受入れ後寄附者の意向により個別寄金助成として2022年度中に助成対象者の公募及び審査・選考を実施する必要があるときは、当該求めに応じ公募等を実施する。

- ・寄附受入期間 通年
- ・公募期間 1か月程度※
- ・審査選考 2023年2月※
- ・対象者、助成金交付決定 2023年3月（理事会：3月）※

※公募期間、審査選考及び対象者決定時期は、原則として一般公募助成の取扱いに準じる。

ウ. 文化・芸術への支援に関する社会的機運の醸成を図る取り組み

文化、芸術の活動を支援（寄附）することの意義について、これまでのASK支援者（寄附者）をはじめ、広く一般市民や企業にASKへの関心を持っていただき、積極的に支援（寄附）するという文化の社会的機運を醸成する取り組みとして、成果報告会の実施、企業等が行う文化芸術振興活動への協力、メディアと連携した情報発信などを行う。

…成果報告会開催日程 2022年6～9月

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の文化芸術活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

- ・主 催 大阪府、大阪市、（公財）関西・大阪21世紀協会
- ・贈呈式 2023年3月

イ. アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成～プログラム（公益目的事業1）

新進の現代アートの人材を育成し、文化芸術のすそ野を広げることにより、関西・大阪の文化芸術の活性化に貢献することを目的に、関西・大阪のアーティストの活動紹介と子どもたちを対象とした文化芸術体験の場を提供するプログラムを実施する。

- ・主 催 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・実施校数 5校程度
- ・実施校募集 公募
- ・実施時期 2022年6～12月頃（1校につき3回程度実施）

※本事業実施に際して年度毎に評価を行うため外部から評価委員を招聘。

※他団体の助成制度や公募による受託業務の活用により、実施エリア・実施校数の拡大を目指す。

ウ. 文化活動機会の架け橋事業の実施（公益目的事業1）

当協会が結節点機能の役割を果たし、関西・大阪で活動する優れたアーティストを文化芸術活動の誘致（実施）を希望する団体等に紹介し、文化活動の活性化を図る取り組みを実施する。

- ・実施時期 6月～9月 予定
- ・場 所 大阪市内ホテル ほか

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. 関西ブランドの発信

ア. 2025年万博開催の機運醸成と関西ブランドの情報発信（公益目的事業1）

国立民族学博物館において、1970年と2025年の万博、そして両万博とその後の未来をテーマに、2025年まで毎年シンポジウムが開催される。

万博の大阪開催は、関西・大阪の歴史や文化など、地域社会に大きな影響を与えてきた。

70年万博のレガシーを引き継ぐ当協会は、シンポジウムへの協力体制を構築し、2025年の万博開催年までの間、同博覧会開催の機運醸成と万博を通じた関西・大

阪の歴史や文化など関西ブランドの情報発信を行っていく。

【2022 年度実施予定】

- ・実施時期：2022 年 11 月頃
- ・場 所：国立民族学博物館
- ・主 催：(公財) 千里文化財団
- ・協 力：(公財) 関西・大阪 21 世紀協会

イ. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業 1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信する広報誌を発行する。

賛助会員をはじめ、公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布する（約 1 万部）。

- ・発行回数 年 2 回（2022 年 9 月・2023 年 3 月予定）

ウ. ホームページ、SNS による発信（公益目的事業 1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催・後援等をする文化芸術活動の最新ニュースをタイムリーに発信する。

- ・実施期間 通年

エ. 動画の制作と発信（公益目的事業 1）

関西の食文化・歴史等に焦点を当てた動画を制作し、その魅力を発信する。

- ・実施期間 通年

オ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

- ・実施期間 通年

2. ネットワークと理解促進

ア. 後援・協力（その他事業 1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状の授与等）を行い、ホームページで広く活動を紹介する。

- ・実施期間 通年

イ. 協会活動への理解促進（その他事業 2）

賛助会員との交流会を行い、事業の PR や協会活動への理解を深める。

- ・実施時期 2023 年 1 月頃【予定】

ウ. 広報活動（公益目的事業 1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し、関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

- ・実施期間 通年

Ⅲ. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり

ア. 大阪万博に向けた歴史・文化の紹介 [日本博事業フォローアップ]（公益目的事業 1）

2020 年度に制作した「古代首都なにわ八十島祭」のコンテンツの有効活用のため、当協会関連催事や WEB サイト等において関西・大阪の歴史・文化の紹介を行

うことを主眼に、「2025年大阪・関西万博」に向けた幅広い視点での取り組みを推進する。

- ・実施期間 通年
- ・関連催事 常設博物館でのイベントなど（共催、協力として参画）

イ. 広域連携支援／「北前船寄港地フォーラム」の支援（公益目的事業1）

「(一社)北前船交流拡大機構」が連携による地方創生への貢献を目的に実施する「北前船寄港地フォーラム」を支援する。

また、北前船各寄港地の日本遺産認定に伴い、同機構が推進する「日本遺産」啓発事業に対して関西エリアを中心とする連携への協力を行う。

- ・支援期間 通年
- ・フォーラム実施時期 2022年10月、2023年3月（予定）
- ・日本遺産への協力 通年

ウ. 文化施設との共同プロジェクト（公益目的事業1）

大阪を中心とする関西で活躍する若手アーティストに、文化施設内で作品を展示する機会を提供する。実力のある関西の若手アーティストに、国際的に羽ばたききっかけを作るとともに、大阪、関西におけるアートシーンを活性化させることを目指す。

- ・主催 (公財) 関西・大阪 21世紀協会、文化施設
- ・実施時期 2022年8月～（予定）

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、あるいは主催者として当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるような展開を図る。

上方伝統行事については、記録映像を集積し当協会ホームページで発信する。

ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

- A. 日本の文化に親しむ「天神祭『船渡御』の体験」
 - ・実施時期 2022年7月25日（月）天神祭【予定】
 - ・場所 大川、桜ノ宮公園付近（大阪府大阪市）
- B. 日本の芸能に親しむ「舞台公演」
 - ・実施時期 2022年9月～10月【予定】
 - ・場所 国立文楽劇場
- C. 季刊雑誌「やそしま（第16号）」の発刊
 - ・発刊時期 2022年12月頃【予定】
 - ・内容 座談会等 詳細未定
- D. 上方の文化、芸能の資料収集等
 - ・実施期間 通年

イ. 無形文化財の保護・育成

- A. 今宮戎神社 宝恵駕行事[無形民俗文化財]（2023年1月10日）協賛
- B. 住吉大社 御田植神事[重要無形民俗文化財]（2022年6月14日）共催